

ブライアントパーク (NY) はお散歩のための公園ではなく、くつろぐと遊ぶに焦点をあてた公園です。周辺で働く人達にとってはまさにオフィス街のオアシス。リラックスモードのビジネスマンの顔が公園全体で覗けます。



くつろぎスポット：01.

中央の芝生スペース、それを囲むようにあるベンチや芝生の広場、それらに囲まれた芝生スペース。天気がよければおしゃべりしたり、本を読んだりカフェ代わりにしている人達でぎっしりです。



くつろぎスポット：02.

公園の南西に位置するサウスウエストポーチではビールの販売もあります。夏場の夕方方は仕事帰りのビジネスマンでごった返します。ユニークなブランコ席もあります。冬も利用できる暖房完備はうれしいです。

この公園ほど遊べる施設が充実している場所はありません。しかも器具レンタルと施設使用料とも無料の場合がほとんどです。ランチの後はミニゴルフでバターの練習とサラリーマンにはうれしい施設が揃っています。朝の時間やお昼休みを利用した無料レッスンも人気です。

遊ぶ

卓球はトーナメントも予定されています。腕に覚えのある人はぜひ参加してみたい？期間指定がないものは年間通して利用可。器具を利用する際は係員に一声かけましょう。



merry-go-round (2ドル)



卓球 (4月～11月)



読書コーナー (新聞・週刊誌が並びます)



バドミントン



ゲームコーナー (4月～10月、有料)



ミニゴルフ (4月～11月頃)

食べる

園内に3つお食事処があります。

- ブライアントパークグリル (アメリカ料理レストラン)
- ブライアントパークカフェ (アウトドアカフェ、4月中旬から11月中旬オープン)

●サウスウエストポーチ (オリジナルのサンドイッチショップ)



ブライアントパークカフェ



ブライアントパークグリル



ウォッチクラブ



習う

下記以外にも編み物教室（6月～8月）、外国語教室（5月～8月、フランス語、スペイン語、日本語、イタリア語）、フライフィッシングクラスがあります。これらのクラスはほとんど無料。期間中、週1回ペースで開催されます。事前予約が必要なものがほとんどですが席に空きがあれば飛び入り参加可能。クラスの詳細・予約は公園公式サイトを参考に。



ジャギリングクラス(1月～5月)



野鳥観察(4月～10月)



フェンシングクラス(4月～10月)



太極拳クラス(4月～9月)



イベントも盛りだくさん



年間を通してイベントも多く行われます。特に夏の野外コンサート、秋・冬はCitiPondと呼ばれるアイススケート場は活気があります。イベントの予定・詳細は公園の公式サイトを参考に。

<夏>

野外コンサートや野外映画祭が行われます。芝生でゴロ～んとしながら持参のサンドイッチを食べながら音楽を聴くのが夏の醍醐味ですね。

<秋・冬>

気温がぐっとさがる季節もブライアントパークは楽しい。日が暮れるのが早い冬場にアイススケートリンクの光を見るとホッとします。アイススケートリンクオープン時にはリンクを囲むようにCelciusと呼ばれる暖房完備の屋外カフェも登場。そして12月のクリスマスツリーも見逃せません。

- 10月末から1月初旬 ホリデーマーケット開催
- 10月末から3月初旬 アイススケートリンクオープン (通称CitiPond)
- 11月末から1月初旬 クリスマスツリー
- ※開催時期は年によって異なることがあります。



Case
02

NYは、新しいものが多く生まれる街ですが、ハイラインのように、古いものも大切にしながら新しい用途を模索するという、創造性が溢れた一面もあります。

ハイラインは大規模なインフラ整備事業の忘れ去られた遺産跡につくられた公共の為の新しい公園で2009年の夏にNYの都会に突如として現れた都市公園。

2002年から本格的に始まった公園としての再生工事が7年間の工期を終えついに2009年の夏にデビューすることとなった。

この公園の特色はなんと空中に浮いた空中庭園型の公園であること、1930年代に作られた 歴史的価値のある高架構造をもとに廃線であった鉄道敷地を利用しそれを取り壊すこと無くリサイクル的に利用して作られているということがあげられる。

1930年代アメリカ NYで大規模な公共インフラ整備事業の一環としてマンハッタンで最大の 工業地区からの貨物の運搬等の目的で高さ約10Mの鉄道高架がウェストサイドに作られた、もとは市内の路面に貨物列車が頻りに往来をすることが危険との判断で、当時1930年代としては画期的な貨物専用高架鉄道として誕生するが、都市計画の変更やマンハッタン島の再 開発等で1980年代にはこの貨物鉄道高架線はすっかり使われなくなり皆の記憶からは忘れ去られていくことになる。

実際、当時、近くを歩いても「なんか高架みたいな柱が立ってるなあ」位の印象しかなかった

たぐらの物ではあった。

廃線、廃墟マニアの間では都会の真ん中の忘れ去られた空中廃墟としてかなり有名であった この廃線跡地であったのだが、このハイラインがある地区であるミートパッキングエリアの再開 発事業によりこの歴史的建造物の取り壊しを検討していたが、近隣住民とロバート・ハモンドと ジョシュア・デービットとからなるコミュニティーグループがハイラインの高架公園、プロムナード としての再利用としてのハイラインの使用法転換を求め運動を起こします。

1999年にニューヨーク都市部の公園とレクリエーションとしてNY市の管轄権の下で運営する

都市公園事業として再開発が行われることとなり、景観建築という思考を取り入れ統合風景に

重きを置きこの夏にめでたく都市公園としてリニューアルオープンを果たしました。

歴史的な構造建築物をただ取り壊すこと無く公園として生まれ変わる、高度なりサイクル的発想を近隣住民からのアイデアなどを受け入れるNY市の懐の深さ等、壊しては作り、作っては壊す都市部の再開発を行う従来の20世紀型の行政とは違うアイデアで生まれたこの公園、我々も都市部の再開発等をもう一度、色々な角度で考えさせられる事となる公園が誕生したのはいうまでもありません。

視点：01 話題・注目事例

- PARKFUL for Android
- ローズウエディング 国営越後丘陵公園 2016.5.5.26. /新潟県 長岡市
- 木場公園内に保育所検討 18年開所目指す 2016.06.02. /江東区
- 区立公園でデイキャンプ . /杉並区
- 公園の自主運営、売り上げの0.5%地域還元費として寄付、公園での企画イベント費用 /豊島区
- 野菜生産者と組む即売会、地元小学生芝生栽培、「公園を都市のリビング」
- ネガティブな規制化から、住民が前向きに公園の活用を考える
- 公園全体の収益、持続可能な公園空間を持続
- 地元との接点、地元との連携が重要、
- ヤファー × 白馬村 の成功「一企業肩入れモデル」の成功事例 /長野県白馬町

・ウィンタースポーツの聖地、白馬村。ここが近年、夏のアウトドアスポーツでも注目されている。背景には、ヤファーの支援があった。「肩入れ」とは、「ひいきをすること。力を添えること」。

1企業が1つの地域に「肩入れ」し、片っ端から課題を解決していくことで、今までになかった地域活性化が見えてくる。

ウィンタースポーツで知られる長野県北安曇郡白馬村。ここが長年にわたって抱えてきた課題は、「グリーンシーズン（夏）の開散期における集客施策だった。その解決策として2011年に始まった「白馬国際トレイルラン」は今、全国でも屈指のトレイルランニングイベントになっている。15年の第5回大会では出場者約2,000人の枠に申し込みが殺到し、数時間でいっぱいになるほど。冬のスキーに続く新たな観光の目玉として、一年を通した白馬の雇用促進策として、村の活性化に繋がることが期待されるキラーコンテンツに育っている。

このイベントの立ち上げと運営には、Yahoo!JAPAN（以下、ヤファー）の宮坂学社長以下、大勢のヤファー社員がボランティアで参加してきた。

USTREAMでの中継や、エイドステーションの設営、後夜祭の運営も無償で手伝った。

いや、手伝ったというよりもむしろ「主体者」として、進んで色々なことを企画して実行した。

ぐっと肩を入れて、社員も、そうでない人も巻き込む。宮坂さんは、こうして地方を元気にしてきた。

白馬の自然が大好きな宮坂さんは今、100マイル（約160km）のトレイルランニング、青木湖を使ったトライアスロン大会、世界の一流スノーボーダーを呼んで白馬の雄大な山を滑らせるイベントのアイデアを、地元の若いリーダーたちとともに構想している。

15年9月、ヤファーは白馬村と連携協定を結んだ。白馬高校へのICT教育の支援などを行い、

観光や教育分野の活性化を目指すそうだ。この事例を、最近よく聞く「地方創生」や「官民連携」という言葉で片付けるのは簡単な。

しかし、ヤファーのような社員数千人規模の上場企業が、創業の地でもない人口1万人弱の地方自治体と、こうして手を繋ぐ事例は全国を見渡してもなかなか見当たらない。

●パークマネジメントと次世代公園研究会

・グローバルなオープンイノベーションの機会（プラットフォーム）を活用し、知の集積交流と社会との合意形成とともに公園イノベーションを創出
公民連携による公園での研究開発、実証実験、開発運営、人材教育、マーケティングやブランディングを実践を目指している。

【現在活動、また予定しているテーマ部会】

- (1)情報通信部会
- (2)防災・エネルギー部会
- (3)レジリエンス部会
- (4)健康、福祉、医療部会
- (5)次世代キッチンカー（移動販売車）部会
- (6)キャンプ、オートキャンプ部会
- (7)和の公園(日本庭園等)部会
- (8)琉球庭園・琉球公園部会
- (9)地球公園部会(地球ビックデータ)
- (10)国際連携、国際戦略部会
- (11) イベント部会
- (12)音楽コンサート部会
- (13)スポーツ、競技場部会
- (14)花と緑、植物部会 (15)食の部会
- (16)次世代遊具、施設部会
- (17)デザイン芸術部会



(illustration by Kenji Oguro)

視点：02 環境教育&テーマパーク

- 公園の利用料がコンビニで支払いを開始 2016.04.01より /那覇市
- 明石公園内にできるローソン(コンビニ)が20156.02.月末OPEN /明石市
- 勝山公園 北九州市、商業施設設置認可へ カフェやコンビニ /福岡
- こもれび森のイバライド(株式会社ファーム) 阿部容子氏監修 バラ園 /茨城県稲敷市
2016.6.04 OPEN

ダマスクローズがなんと1,200株の「バラ園」、新しくオープン!

フランスの農園をイメージし、豊かな環境の中で様々な動物たちにじかに触れ、日々の喧騒の中で忘れていた人間らし感性を呼び覚ますテーマパーク。

「当施設名称”イバライド”の”バラ”はこの”バラ”園を示していて、大変力を入れています。フランスの田舎にある”バラの村”のようにただ美しいと鑑賞するだけでなく生活の中にその効能を活かせる事も伝えたいと考えています。

今後はお客様に、ダマスクローズの摘み取りからそのバラでローズウォーターを作るといった生活用品まで手づくりする体験を提供できればと考えています。」と語りました。

こもれび森のイバライド

基本情報

営業時間：午前9時半から午後5時 休園日：なし

入場料：おとな(中学生以上)1,000円 子ども(4歳~小学性)600円



視点 03

パークマネジメントにおける

視点：03 ラン・サイクルステーション

●名城公園にランニングステーションなど新施設計画。2017年4月オープン予定。/名古屋市北区市

●中心部には新たなランドマークとなることが期待されるウッドデッキを建設。

これは名古屋市が進めている、都市公園の利用促進のための策定方針『名古屋市公園経営基本方針』に基づき、民間事業者より利用案を募っていた中から選定された計画。『名城コミュニティサポートパーク』をコンセプトに、緑に囲まれた環境の中で、健康増進のためのカフェ/レストラン、スポーツサービス施設が入居する複合施設を展開。中でも注目すべきはランナー向けの施設で、ランニングステーションやサイクルステーションを設け、シャワー室やロッカールームなどが設置される見通しとのこと。他にもスポーツショップなどの物販店や、イベント/ワークショップなどが行える広場の設置も計画に盛り込まれている。

名古屋城のイメージに即したエントランスで、大津通側は景観にも配慮する。

2017年4月までにオープンし、事業期間は最長20年となる予定。

東京では皇居の周囲がランナーたちのメッカであるように、名古屋は名城公園がメジャーなランニングスポットとなる日も近いかもしれません。

RUNNING STATION

ランニングステーション



視点
04

パークマネジメントにおける

視点：04 キャンプビレッジ

HELLO WOODS!



ハローウッズってなに？

いつでも、誰でも、思いっきり遊べる元気な森。
人と自然が楽しくかかわり合う中で、自ら体験し、
発見するきっかけの場。

●ツインリンクもてぎ

親子で楽しめる森の中のテーマパークとして、関東のおすすめ公園ランキングが、上昇中です。広大な自然の中にある、ハローウッズの森では、どんぐりの森ガイドウォーク、森のクラフト工房などのイベントが楽しめます。



- 【施設名】 ツインリンクもてぎ
- 【所在地】 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
- 【アクセス】 JR東北本線宇都宮駅よりツインリンクもてぎ行きバスにて約90分 車の場合：常盤自動車道水戸ICより約40分
- 【電話番号】 0285-64-0001
- 【営業時間】 9：30～18：00（季節により異なります）
- 【定休日】 ※施設点検のための休業日があり
- 【入園料】 大人、高校生以上：1000円・子供3歳～中学生まで無料※花火開催日を除く
- 【駐車場】 4輪1000円、2輪500円※レース、花火開催日は除く

デイキャンプセット

みんなでワイワイ楽しめるバーベキュー！
食材は切ってあるので焼くだけで大丈夫。「ジュー」という音と、炭で焦げたにおいは食欲をそそります。

- 料金：2,170円/2,710円/3,250円
- セット内容：料金によって異なります。
- セット用品：イス/テーブル/お皿/おはし/木炭コンロ/木炭
- ※1名様のお支払料金となります。
- ※火おこしについては、ご希望により前もって着火させていただきます。
- ※コンロは人数により半割ドラム缶を使用させていただきます。
- ※食材は食品衛生法上、箱で「未開封」の状態にてご用意させていただきます。



視点 05

パークマネジメントにおける

視点：05 自然体験

●ツインリンクもてぎ

親子で楽しめる森の中のテーマパークとして、関東のおすすめ公園ランキングが、上昇中です。広大な自然の中

にある、ハローウッズの森では、どんぐりの森ガイドウォーク、森のクラフト工房などのイベントが楽しめます。

環境モニタリング調査により、およそ4,800種類の生きものが確認されています。この時期のおすすめ紹介

植物や昆虫、いろんな生きものを観察できる自然体験フィールドをはじめ、クラフト工房やオートキャンプ場、冒険教育ができる施設もあります。森遊びやアウトドアクッキングなど、四季を通じていつでも楽しめる自然体験プログラムをご用意しています。



6月25日(土)・26日(日)
ホテル観賞ガイドウォーク
幻想的なホテルの光と、思いっきり田んぼの生きもの探し。



7月2日(土)
竹のクラフト教室
つくって使う、自分流竹のクラフト！



7月2日(土)・3日(日)
棚田でどろんこ！草取り体験
里山の棚田で田んぼ体験、どろんこって気持ちいい！



7月22日(金)～8月21日(日)
夏のガキ大将の森キャンプ(30泊31日)
わんぱく少年少女集まれ！無限の可能性に挑む30泊31日

この時期、森で出会える生きものたち



ヤマアカガエル



シジュウカラ



スミナガシ



カナヘビ



シュレーゲルアオガエル



イモリ

年間を通じてハローウッズの森で出会える生きものの一覧はこちら→

01

どんぐりの森ガイドウォーク



キャストと一緒にハローウッズの森へ出かけよう！季節ごと、日ごとに変化するハローウッズの森。そこには不思議や発見が隠れています。森のことをよく知るキャストと歩けば、冒険は見逃してしまわない生きものたちの不思議な暮らしや面白い場面が次々と目に飛び込んできます。見つけた生きものをじっくり観察したり、手にとって触ってみたり。森で出会う生きものたちと安心して触れあえるのは、キャストと歩くガイドウォークならではです。
案内するキャストによって、森の中のおススメポイントはさまざま。楽しい森あそびをお手伝いします。
森を歩くのんびりじっくり楽しむ、1時間半のロングコースと、小さいお子様連れの方でも安心の、1時間のショートコースをご用意。どちらも自然体験満点の楽しいウォークです。

実施日	毎日開催
実施時期	6/1(水)～7/15(金)、7/19(火)～7/29(金)の平日 【ロングコース】 10:30～12:00 (カブトムシの丘、ミススマシの沢など) 【ショートコース】 13:00～14:00 14:30～15:30 (アカネズミの広場、カブトムシの丘方面、樹冠タワー) 7/16(土)～18(月・祝)、23(土)、24(日)、30日(土)、31(日) 【ロングコース】 ①10:30～12:00 ②13:30～15:00 (カブトムシの丘、ミススマシの沢など) 【ショートコース】 ③10:00～11:00 ④12:00～13:00 ⑤14:00～15:00 (アカネズミの広場、カブトムシの丘方面、樹冠タワー) ※予告なく実施時間を変更することがございます。予めご了承ください。 ※お客様の年齢などに応じて、ご案内するルートを変更することがございます。
料金	ロングコース 500円/1名 ショートコース 400円/1名 ※未就学のお子様は保護者の方と同伴になります。
所要時間	ロングコース約90分 / ショートコース約60分
受付時間	各回15分前まで
定員	各回20名

開催プログラム

3件中 1～3件を表示



6月11日(土)～12日(日)
森づくりワークショップ ～野外お風呂づくり～
花咲く森の手入れ



日程 1泊2日
参加対象 中学生以上
料金 7,000円



6月12日(日)
木漆工芸作家 松崎融の「木と親しむ木工講座」～スプーンづくりと漆塗り見学ツアー～
温もりのある木を思いの形にくりぬき、漆塗りの逸品を手作りで！



日程 日帰り
参加対象 18歳以上
料金 6,500円



6月25日(土)・26日(日)
ホテル観賞ガイドウォーク
幻想的なホテルの光と、思いっきり田んぼの生きもの探し。



日程 日帰り
参加対象 ファミリー
料金 大人1,000円、子ども1,000円
※0～2歳は無料

視点：06 公園で産む利益（価値）

●稼ぐ公園 公園で利益を出す為に (出典：小口健蔵オフィス)

- (1) 地域社会・経済に貢献する存在となる
- (2) 入りを図り、出を抑える
- (3) 街と一緒に不動産価値を上げる

では、どうやって稼ぐ公園をつくるか

- (1) コストセンターと考えるのではなく、
プロフィットセンターにすること考える
- (2) 企業会計で考える
- (3) 民間の柔軟かつ優れたアイデアや活力を導入する
- (4) 私たちの仕事は、公園を活用して街を良くする不動産ビジネスだと考える

「稼ぐ」の意味はただ単純にお金を稼ぐことではありません。
社会経済に貢献すること、地域の不動産価値もあげることを含めています。

都立駒沢オリンピック公園に新たにおしゃれなカフェ・レストランを作ることは、たくさんの人が公園に集う機会を作るでしょう。公園に行きたいなと思えることが増えれば、外出機会を多くし、歩く人を増やします。
線に囲まれたところでいきいき遊ぶ子供たちの姿を見るだけでも、心が晴れることがあるでしょう。それは体と心の健康に貢献します。

通常の公園は365日開園しています。大きな公園ならば職員は常駐しているでしょう。
公園の維持管理費、人件費は固定費としてかかってくる。
公園に入るにはお金はかからないので売り上げはありません。

しかし、「公園に来た人x その人が受けた公園での効用(価値)」をその公園の「売り上げ」と考えたらどうでしょうか。

この「売り上げ」を増やせば、増やすほどその公園は社会・経済に貢献する公園といえるのではないのでしょうか。

●国営木曽三川公園・河川環境楽園 自然発見館の「河川環境楽園における環境教育とエコパラクラブ」の取り組みです。

自然発見館という実験や体験・創作などができる複数の教室がある工房を拠点に、常駐するスタッフが、学校団体向けプログラム群やファミリー向けプログラム群を開発し、年間2万8千人もの参加者を集めています。

リーズナブルなプログラム参加料を参加者に負担してもらうことで、スタッフの人件費を生み出し、まさにプログラムで「稼ぐ公園」を実践しています。需要を喚起することで環境教育の新しいスタッフの雇用を創出している好事例です。



東京都建設局と(公財)東京都公園協会は、駒沢オリンピック公園西門付近につくるレストラン・カフェの事業者を決定したと発表しました。
上野恩賜公園竹の台広場のカフェとレストランの成功を受け、公園をより魅力的な場所にする取り組みが広がります。

河川環境楽園における環境教育の取り組み

1. 自然発見館の特徴ある工房

2. プログラムの開発(学校団体プログラム群)

3. 平成26年度の取り組み(ファミリー向けプログラム群)

① 立地条件を活かす
② 学校の課題とのつながり
③ 体験的体験
④ 3つのステップ

ファミリー向けプログラムの取り組み

毎週開催プログラム
年間10回開催プログラム
平成23年度からは「エコパラクラブ」に加えて、4つのテーマごとの年間プログラムを開設。さらに平成26年には幼児向けプログラムを加え計6つの年間プログラム(「自然と遊ぼう!」「おもしろタイム」「おもしろクラフト」「食のクラフト」「田んぼクラブ」「家畜クラブ」「エコパラクラブ」)に拡大し、参加者ともに年々増加しています。

観察・実験・野外活動系プログラム
生きものの生態や自然の仕組み、五感を使った体験しているだけでなく環境教育プログラムを行いました。

クラフト系プログラム
作品づくりを通して、生きものの生態や、自然の仕組みなどを知るきっかけとしていただくためのプログラムを行いました。

プロフィットセンター：
会社の事業部制における各事業部単位をさす。それ自体で利益を生み出すように努力する責任単位を意味する。事業部といわなくても、各工場が独立採算の責任単位となっている場合も同様である。この場合、組織上完全に分権管理体制がとられなければならない。

視点：07 地域振興寄与する管理

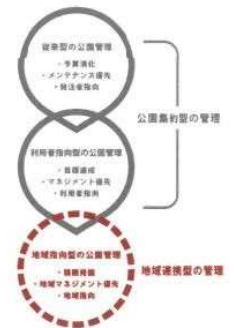
Parks Japan F.

国営みちのく杜の湖畔公園における 地域振興に寄与する公園管理

01 地域指向型の公園管理の必要性

従来型の公園管理は、学習・遊戯・メンテナンス優先・景観美意識の場であった。

- ・今日社会ニーズを反映し、自律型・多目的・複合型・利用指向型・マネジメント優先・利用者指向型である。「利用者指向型」の公園マネジメントに移行した。
- ・しかし、「利用者指向型」の公園管理では、公園内で実施する「公園集約型」であった。
- ・これからは、環境保全・生活文化の継承・景観形成・広域等でのネットワーク化・公園間の連携・景観・防災等、地域の振興や活性化の観点に基づいた公園マネジメントが必要。
- ・建設院「地域マネジメント優先」地域指向型である「地域指向型の公園管理」を構築すべきである。



02 地域指向型の公園管理の実態

都市公園では、地域において良好な環境を形成する事が必要となり、環境保全や防災等を促進する目的の拠点や公園を含んだ地域内の自然・歴史・文化等の情報の発信源として機能することが期待される。地域レベルでの良好な環境や地域振興の維持、向上は社会的な要請である。

地域指向型の公園管理のあり方

- 環境の環境保全に寄与
- 自然環境、歴史・文化の保全・活用等
- 地域振興に寄与
- 防災防災、観光振興等

03 地域の環境保全に寄与する公園管理

公園内にある果樹、原林、歴史的遺跡、移動建物やそれに付随する楽しみ等の保全・継承、地域住民との参加・協働により行う管理。

事例 01 富貴嶺まんのう公園における自然資源の保全・活用

- ・稀少樹などを保全・活用する公園空間に整備、管理
- ・自然環境のしくみ、人と自然の関わりを学ぶ施設
- ・インタラクティブ型の解説



事例 02 宮野ヶ丘歴史公園における歴史的資源の保全・活用

- ・特定時代の遺跡保全と歴史体験プログラムの提供
- ・専門家の監修による本格的な企画展示
- ・中継、継続のガイドによるインバウンド対応



04 地域振興に寄与する公園管理

公園スタッフの雇用や必需品の地域からの購買等の経済的、地域と共有での商品やイベント開発等による観光客から地域振興を行う管理。

事例 01 埼玉畜産局総合運動公園における特産物を活用した「商品開発」

- ・地域外のいちごを活用したスムージーを地元大学と共同開発
- ・フードアキシオン・ニッポンワード特別賞 (2013)
- ・農産物いごの減少、特産品PR



事例 02 新羅中央公園におけるイベント開催による「にぎわい」づくり

- ・園内にキッチンカーを置き、にぎわいの場を創出
- ・景観デザイン、イベント企画の開催
- ・「動物園中心エリア環境改善委員会」との協働、景観



国営みちのく杜の湖畔公園

富貴もりのく杜の湖畔公園は、東北地方唯一の国営公園として、豊かな水と緑に囲まれた憩いの場づくりと憩いの場として整備され、多くの利用者が楽しんでいる。

1989（平成元）年の開園以来、「ふるさと村」や「オーブンハウス」などユニークなものが併設されるなど、広域レクリエーションの場や、観光拠点となっており、地域振興に寄与している。

花壇用花苗の委託生産

背景
みちのく公園では、約 3ha の規模を持つ次花壇を有し、6 万株以上の花苗を供給している。使用する花苗は、地元「フラワー産地産園組合」に委託している。

経緯
フラワー産地産園組合の役員は、菊などの花の生産を主とした小規模農業生産者である。同組合は、みちのく公園の地域振興に貢献し、生産方針を大きく転換せざるを得なくなり、生産調整対策として本公園の花壇用花苗の生産に切り替え、従来より委託生産を積極し推進に至った。

特徴
・本公園への花材を供給することにより、生産額を成立させている地域の雇用増進に貢献。
・生産者が近隣にあるため、一度に大量の花を買い、価格が安く購入・届けやすくなったことなどがある。
・高齢化による継業者の確保が確保。



オリジナル商品の開発

背景
地域の活性化を図ることを目的に、みちのく公園の管理運営者（管理センター）が主体となり、公園が立地する川崎市の製造物産品として、牛乳、チョコレート、そばを使った商品を開発した。

経緯
2011 年の東日本大震災による被災者支援の一環として行われた「復興支援事業」である「復興地域産品開発支援」を管理センターが受け継ぎ実施した。契約期間に 7 年を要し、商品開発を行った。

特徴
・商品に合わせた「ゆるキャラ」もつくり、地元川崎市のキャラクターとした。
・開発した商品は公園内だけでなく、地元物産センター・コンビニ等でも販売し、人気となっている。



馬乗・馬鞍を再現したイベント実施

背景
馬を使った技術を継承し、「人と人と馬が触れる馬山乗鞍」を再現するため、イベントとして馬山地区にて馬で技術者を体験する「馬山・自然共生園」の企画で馬で「字」を引いて競走「馬山」を実施した。実施に際しては、「道野馬乗鞍協会」の協力を得た。

経緯
1973（昭和 48）年度まで、東北地方では無数の馬の歴史の遺跡や水場の遺跡に、馬が使用されていた。地域における自然環境の再生や保全を兼ねたイベントとして、自然共生園と馬山地区らしいイベントとして、馬を使った競走の開催が企画された。

特徴
・「輪に乗る馬車づくり」と「人への申し送り」ももたらした。
・地元と連携したイベント実施によりコストダウンをかけた。
・地域文化の継承に一役買った。



<整備イメージ>



里山体験



下草刈りにより開花したヤマツツジ



散策路



地域交流拠点施設

みちのく公園の公園づくりの基本理念 みちのく公園では、これまで、以下に示す基本テーマ・基本理念及び基本イメージのもと、公園づくりが進められてきており、既存の自然環境を保全しつつ、

東北地方におけるレクリエーション拠点や、文化継承の場として活用していくとともに、市民参画のもとで各種のプログラムやイベントを実施し、幅広い年齢層の利用が見込まれる公園としての姿が示されている。これらの理念は、今後も継承していくべき共通の考え方であると考えられることから、公園の基本理念としては、これを踏襲し、以下のように設定する。

【基本テーマ】「豊かな自然のふれあいを通じて人間性の回復向上」自然環境との調和を図りつつ、人間と水、緑とのかけわりあいの手がかりを、東北の風土と文化に求め、かつ現代の造園技術を駆使して、国民の健全な心身を育み、諸種の体験を通して人間性の回復向上に寄与するように計画する。

【基本方針】

- ①東北地方の公園緑地の重要な核として、東北らしい風土と文化を踏まえ、多様なレクリエーション需要に対応する。
- ②文化継承の役割を担い、子ども達の冒険心を育てる場や、中高年層の健康維持や活力向上の場として、幅広い年齢層の利用に対応する。
- ③周辺地域の振興と交流に寄与するとともに、南東北固有の歴史と風土に根ざった美しい景観を創出・再生し、周辺の景観、土地利用を誘導する。
- ④利用者が積極的に参加できるプログラム、各種イベントの運営を行なうとともに、市民参画による公園づくりを進める。
- ⑤四季の変化を強調し、連年利用がなされるように工夫する。
- ⑥治水・利水の機能を損なわない範囲で釜房湖を有効に利用する。
- ⑦自然環境保全地域・鳥獣保護区の指定に遵い、留意するとともに釜房湖の水質保全に配慮しながら、自然環境の保全、活用と適切な利用に取組む。
- ⑧園内でリサイクル・資源循環を推進し、その成果を発信する。